

164名の新入生と7名の先生方をお迎えし、令和3年度がスタートして、3カ月が経とうとしています。1学期の始業式は、オンラインで行いました。次第にオンラインにも慣れてきていますが、コロナ禍が落ち着き、生徒の皆さんの顔を見ながら対面で話をしたいです。

始業式では次のような話をしました。

.....

今年度もコロナ禍でさまざまな活動が制約を受けることとなると思います。「コロナのせいで・・・」と言っているものでないものでもありません。生きていながら、自分ではどうしようもないこと、自分の思い通りにならないこともたくさんあります。そんな時に、周りのせいとか、環境のせいとか、あの人のせいとか言っているものでないものでもありません。その状況を受け入れ、その状況で最善を尽くすことが大切だと思います。

さて、作家の司馬遼太郎さんが、こんなことを言っています。

「人間は、自分が絶対に正しいと思いこんだ時に、最も残酷なことをする。」(司馬遼太郎)

世の中には色々な人がいて、色々な考え方があって、自分の考えが本当に正しいかどうかは分かりません。でも、人は、正しいと思い込んで人を責めたり、非難したり、聞く耳を持たなかったり、時には攻撃したりすることもあります。例をあげれば、戦争はまさにそうした「自国が正しいと思いこんで」起こる残酷なものであると思います。また、差別やいじめも、自分の側が正しいと思ひこみ、それを正当化するために人を貶める行為であると思います。自分が正しいとか、自分が正義だと正義をかざして人を傷つけていないか、いつも己を振り返ることが大切だと思う。

何が正義で何が正しいかは、人それぞれであり、正解はないと思います。人の生き方、考え方は千差万別で、誰が正しくて、誰が間違っているというということは決してありません。だからといって、自分が間違っていると思ひこむ必要もありません。自分の考えは大切に、信念を持ち、それに従って行動し、自分の考えを伝えることは、とても大切なことです。ただ、それと同じく大事なものは、他者を尊重し、他者の考えに耳を傾け、他者を否定しないこと。それぞれの考え、それぞれの信念があることを認識することだと思います。そして「なるほど、そういう考え方もあるんだ」と真摯に、謙虚に受け止め、自身の信念や考え方を見直していくことが大切だと思います。

私は、社会で生きていく中で、柔軟性とバランス感覚がとても大切だと思っています。偏った考えにとらわれることなく、自分と同じ考えの人だけでなく、自分と違う考え方を認め尊重し、人の良いところと付き合い、自分と違う他者も好きになることがとても大切だと思っています。そうした中で、柔軟性とバランス感覚が備わっていくと思っています。

最後に、いつも話していますが、今年度も「笑顔」と「ありがとう」を口にし、人を幸せにすることを意識して過ごしてほしいと思います。

「笑顔でいれば、笑顔が返ってくる」

「ありがとうと口にしていれば、ありがとうと言われる人になる」

「笑顔」と「ありがとう」であふれる学校にしたいと思います。

私は今年度いっぱい定年退職を迎えます。世の中で生きていくうえで大切なことは何なのか、いつも考えながら40年近い教員生活を送ってきました。そんな中で今、私が大切にしたいと思っていることを、生徒の皆さんに伝えていきたいと思っています。

HPを訪れていただいた皆さま、ありがとうございます。今年度もよろしくお願いいたします。